

南部高等学校等保健会第2回理事会あいさつ

大宮西高校校長の関田でございます。理事会の開会にあたり、一言ご挨拶申し上げます。校長先生方をはじめ、各校の保健主事及び養護の先生方におかれましては、公務多忙の中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。また日頃、各校の学校保健に係る様々な業務にご尽力されていらっしゃることに、心から敬意を表するものです。

さて、皆様には6月の本会総会で「こどもたちの命を守る」ことに関して、私から熱中症事故と落雷事故の防止についてお話をさせていただきました。

この季節になりますと、どちらの学校でも体育祭は終わり、長距離走の各種行事が実施されることと思います。皆様ご記憶にございますように、昨年11月に県立高校が実施しました強歩大会において、2年生の女子生徒が心肺停止の状態になり、翌日に搬送先の病院で死亡するという事故が発生しました。

体育的行事に際しましては、言うまでもなくいずれの学校においても万全を期して実施しておるところですが、尊い命が失われたという事実はたいへん悲しく残念なことであり、これまで以上に再発防止に向けた取組を進めていかなければなりません。

万一の備えとして、すべての学校で、すべての先生方が、AEDを含む救命救急のための研修等を通して、緊急時に対応できるようスキルを上げることでしか、こういった事故からこどもたちの命を守ることはできないのだと考えます。そしてそのためには、ここにご参会の皆様が率先して、教職員のスキルアップの重要性を機会あるごとに各学校に訴えていただくことが必要だと思います。他校での事故を対岸の火事とせず、自校においても起こりうるものだとお考えいただき、再発防止にご尽力いただきたいと思います。

さて、本日皆様にご審議いただきます議事は、主に学校保健功労者表彰と保健主事・養護教諭合同研修会の2点でございますが、忌憚のないご意見をいただきつつ、議事のスムーズな進行にご協力を賜りますようお願いいたします。また、理事会に引き続いて行われます生徒保健委員研修につきましても、参加生徒にとって貴重な経験でございますので、生徒への適切な指導・助言を含め、実のある研修となりますようご協力をお願いし、私の挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

生徒保健委員研修会あいさつ

各学校保健委員の生徒の皆さん、こんにちは。大宮西高校校長の関田です。生徒保健委員研修会の開会にあたり、主催する南部保健会会長として少し挨拶を申し上げます。

本日ここに参加いただいている生徒の皆さんは、それぞれご自身の学校の保健委員会で、日頃、中心となって活動していることと思います。学年は学校によって異なりますが、各校の代表として参加しているのだと理解しています。

ですから、この研修会で見たり聞いたり経験したりすることは、来週以降、それぞれの学校で、まずは保健委員会の中で報告するなどして、他の保健委員の皆さんに内容を教えてあげてください。

そして、できれば何らかの形で、例えば保健だよりで紹介するなどして、全校生徒に知らせてもらいたいと思っています。

本日の研修会では、お手元の資料の表紙に「3 講義・実習」として書かれておりますように、「一生の宝「姿勢体力」を身に付ける」と題したお話をさせていただきます。

講師を務めてくださるのは、虎ノ門カイロプラクティック院長でいらっしゃる碓田拓磨（うすだ たくま）先生です。先生は、長野県の小中高等学校、そして早稲田大学社会科学部をご卒業になり、民間企業でのご勤務を経て、アメリカのアイオワ州パーマー・カイロプラクティック大学にご入学、ドクター・オブ・カイロプラクティックの学位を取得され、2002年に虎ノ門カイロプラクティック院を開業されました。同時に、早稲田大学で保健体育科目「姿勢と健康」をご担当され、一般社団法人日本姿勢教育協会理事、株式会社SPINE代表取締役もお務めでいらっしゃる、テレビにも多くご出演されています。

本日はお忙しい中、この研修会の講師をお引き受けいただきました。それでは碓田（うすだ）先生、どうぞよろしくお願ひいたします。